

省エネ法データに基づく各事業所の 2000 年度の CO₂ 排出量 CO₂ 計算方法の注記

「各事業所の 2000 年度の CO₂ 排出量」は、省エネ法データに基づき、気候ネットワークが下記の考えに基づいて独自に集計し、CO₂ 排出量を算出したものである。

1) 各事業所の排出量の算定方法

各事業所共「全排出」(工場内で消費した燃料起源の CO₂ に直接排出に購入蒸気、購入電力起源の CO₂ を加えたもの)と「直接排出」(工場内で消費した燃料起源の CO₂ のみで、購入蒸気や購入電力分は含まない)を算出している。

この方法では電力分に重複が生じる。排出量の合計値の算出には、直接排出量で計算している。

2) 個別燃料の CO₂ 換算

各事業所の報告は、燃料消費量が質量や体積(トン、キロリットルなど)で、電力は kWh 単位で示されている。燃料ごとに、報告書に記載された消費量[体積 or 質量単位]に、経済産業省の報告している「エネルギー源別標準発熱量表」の『発熱量』、「環境省温室効果ガス算定方法検討会」の 2002 年の報告の『CO₂ 排出係数』を機械的にかけて CO₂ 排出量を算出し、これに蒸気と電力起源の CO₂ を加えて機械的に求めた。

(CO₂ 排出量)

$$= (\text{燃料消費量 [体積 or 質量単位]}) \times (\text{発熱量 [体積 or 質量あたり発熱量]}) \times (\text{CO}_2 \text{ 排出係数}) \\ + (\text{蒸気購入量}) \times (\text{蒸気の CO}_2 \text{ 排出係数}) + (\text{電力購入量}) \times (\text{電力の CO}_2 \text{ 排出係数})$$

電力の CO₂ 排出係数は、報告からは一般電気事業者からか独立系かは判断できないので、環境省温室効果ガス算定方法検討会が一般電気事業者の電力に対して算出している 2000 年度の CO₂ 排出係数を用いた。蒸気の排出係数は総合エネルギー統計より燃料消費を求めて試算した。

また、個別には次のような考え方で統一した。

【合計値のみ開示し、燃料種を開示していない事業所(非開示扱い)】

B 重油とみなす

【「その他の燃料」欄で燃料種を示さないもの】

B 重油とみなす

(石炭と天然ガスの中間の重油の、さらに中間が B 重油であるため)